

ネットで出資募る

みなべ 梅加工会社の新商品

Makuake

プロジェクトを掲載する

プロジェクト

活動レポート

応援コメント

Success!

集まっている金額 389,000円

目標金額 140,000円

277%

サポーター 90人

残り 3日

プロジェクトを支援する

オーク樽で漬けた
アルコール30度
ウイスキー梅酒

(株) 新州うめよし

新商品発売に向け、インターネット上で出資を呼び掛ける

みなべ町の梅加工会社「紀州本庄うめよし」(山西一善社長)は、クラウドファンデ

反響があり、同社は「会社を知ってもらおうチャンスにした」と話している。

クラウドファンディングは、インターネットを通じて不特定多数から必要な資金を集める仕組み。集めた資金でプロジェクトを実行し、出資者へ商品提供や配当を行う。今回、県の活用支援事業を通じて、クラウドファンディング運営会社を利用した。

プロジェクト名は「梅は脇役。主役がお酒のオーク樽(だる) 熟成梅酒 アルコール30度」。樹上完熟させた南高梅をウイスキーで漬け込み、さらに樽で熟成させる。

プロジェクトの目標額14万円は、樽(容積200㍉)の購入費。出資者には金額に応じて、1月完成予定の商品や梅干し製品を贈る。クラウドファンディング運

営会社のサイトを見た人が、同社の梅干しを購入するなど、出資以外にも反響があるという。

同社の担当者は「今まで接点のなかった層にも、会社の取り組みを周知することができていると感じる。多くの人に梅酒や梅干し作りのこだわりを知ってもらいたい」と話している。出資の募集は27日まで。

早生は表年傾向

温州ミカン結果母枝数

日高果樹技術協

日高振興局やJA紀州などでつくる日高果樹技術者協議会は20日、2020年産温州ミカンの結果母枝(果実をならせる枝が発生する元の枝)調査の結果を発表した。

由良町、日高川町、印南町、みなべ町の計37(ゆら早生12、

早生25)園で16、17日に結果母枝の本数を調べた。調査園で平均的な成木を2樹選び、直径3㍉の枝(1樹当たり2枝)に印をして、そこから枝

先までの間に発生している結果母枝(3枚以上着葉)の数を数えた。

1枝当たりの数は、ゆら早生で47・5本(前年比1115%)、早生で41・8本(同127%)だった。

同協議会は「ゆら早生の結果母枝数は、昨年よりやや多いが、葉が小さく短い母枝が多く、密生している枝の割合が多く、観察でも細い母枝が多く見られたことから、充実した母枝は少ないと考えられる。早生の結果母枝数は、昨年や一昨年産と比べて多く、表年傾向である」という。